



利益よりも人々を優先

- パネル5 -

多くの人々のために： 公正なグローバル経済における公共サービス

労働者が尊厳を持ち、地球が守られ、誰もが基本的ニーズを満たされ、潜在能力を発揮することができる世界であるためには、私たちが今持っているものとは異なる経済モデルが必要である。

人々のためになる経済は、市場と競争のパラダイムが蔓延し続けて、賃金、税金、公共サービスの供給および環境基準に限りなき下降競争を促している間は不可能である。そのようなシステムは政治的にのみ持続可能である、なぜならそこから利益を得る人々は、公共サービスは非効率で革新することができず、経済にとって負担であるという作り話を狡猾に宣伝するイデオロギーを周到に打ち立ててきたからである。

しかしながら人々はいまなお彼らが受ける質の高い公共サービスに強くこだわっている。人々がそうしたサービスを守り、拡大するために闘うのは、強力で実行可能な対案が示された時である。金持ちや大企業が応分の税金を支払わないことに対する人々の怒りがある。そしてコミュニティは、不平等を拡大し、諸権利を企業に移し、公共サービスの土台を壊すような貿易協定を阻止するために、ますます結集している。

私たちは、公共サービスを人権の実現における中心的な役割に復帰させなければならない、そして民主的規制を求め、持続可能な開発をサポートし、万人が手に入れることのできるサービスを提供するために、公共サービスを民主国家の中核に戻さなければならない。私たちは、経済と社会の両方に貢献している公共サービスと公共サービス労働者を高く評価しなければならない。私たちがより公正な経済を求めて進歩できるか否かは、私たちが信頼できる対案を提供し、教育し、世論を動かし、政策決定者に影響を及ぼせるかどうかによって決定的に左右される。